ボーリング柱状図

調　査　名

事業・工事名

ボーリングNO.									

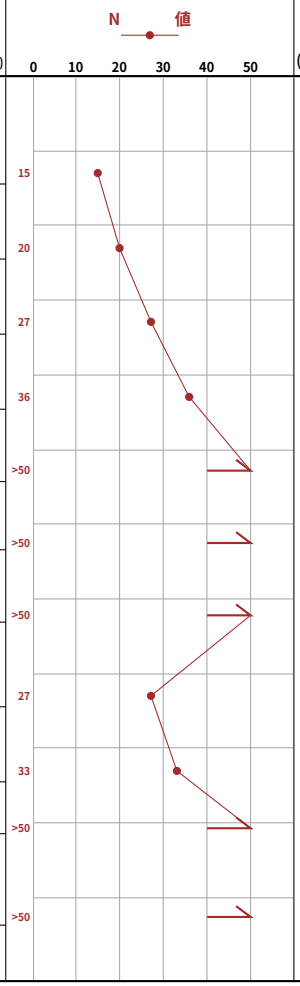
シートNO.

ボーリング名	NO.BV-4	調査位置						北　緯	36 ° 41 ' 15.0000 "
発注機関	栃木県烏山土木事務所			調査期間	2008-11-27 ～ 2009-03-10			東　経	140 ° 06 ' 08.0000 "
調査業者名		主任技師		現場代理人		コア鑑定者		ボーリング責任者	
孔口標高	138.31 m	角度	180° 上 90° 下 0° 0.00 °	方向	北 0° 270° 西 90° 東 180° 南 .00 °	地盤勾配	鉛直 90° 水平 0° 0.00 °	使用機種	
総掘進長	11.36 m							試錐機	ハンマー落下用具
								エンジン	ポンプ

標尺 (m)	標高 (m)	層厚 (m)	深度 (m)	柱状図	土質区分	色調	相対密度	相対稠度	記事	地層岩体区分	孔内水位 (m) ／ 測定月日
	137.81	0.50	0.50		表土 (SF)	暗褐灰		軟ら	上部10cm腐植土、礫混じり粘土主体。腐食物混入。		0.26
1	137.01	0.80	1.30		礫混り粘性土 (C-G)	暗褐灰		中位	粘着中位。含水やや高位。礫径2から80mm混入。乱れる。		
2 3 4	133.61	3.40	4.70		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐灰	中ぐらい		礫径2から30mmの亜円、風化礫(腐れ礫)主体。礫間粗中砂、凝灰質粘土にて充填 2.50m付近まで若干含水多く、全体にやや緩い礫である。 2.75から3.00mの間、火山灰質細砂多く混じる。 最大礫径80mm程度の礫混じる。		
5	133.41	0.20	4.90		固結粘土 (CC)	淡褐灰		中位	含水比、粘着性は中位。 ややシルト質の粘土である。		01/21 5.30
6 7	130.61	2.80	7.70		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐灰	密な		礫径2から40mmの亜円、風化礫(腐れ礫)主体。最大礫径90mm。 礫間粗中砂、固結状の凝灰質粘土にて充填。 含水比は下位から中位。 6.70から6.90m間、粘土分多い 6.40から6.70m間、湧水。 コア長8cmの玉石混入。		
8 9	128.41	2.20	9.90		固結粘土 (CC)	褐灰		固結した	含水比は下位から中位。 8.40より8.80m間、砂分多く含む細砂主体。薄い互層状に粘土挟む 9.10より9.90m間、砂分多く含む1cm程度の粘土層をシーム状に挟む。		
10 11	126.95	1.46	11.36		粘土混り砂礫 (GS-C)	暗褐灰	密な		礫径2から40mmの亜円、風化礫(腐れ礫)主体。 礫間粗中砂、固結状の凝灰質粘土にて充填。 含水比は中位からやや高位。 非常に密な礫である。		

標準貫入試験

深度 (m)	10cmごとの打撃回数 0－10	10－20	20－30	打撃回数／貫入量 (cm)	N値
1.15	3	5	7	15／30	15
1.45					
2.15	5	7	8	20／30	20
2.45					
3.15	8	8	11	27／30	27
3.45					
4.15	9	18	9	36／30	36
4.45					
5.15	14	21	15／7	50／27	>50
5.42					
6.15	23	27／9		50／19	>50
6.34					
7.15	31	19／6		50／16	>50
7.31					
8.15	7	9	11	27／30	27
8.45					
9.15	9	11	13	33／30	33
9.45					
10.00	32	18／4		50／14	>50
10.14					
11.15	22	25	3／1	50／21	>50
11.36					



原位置試験

深度 (m)	試験名および結果

試料採取 深度 (m)	試料番号	採取方法	室内試験	掘進月日
1.15	1	A		
1.45				
2.15	2	A	密度	
2.45				
3.15	3	A	密度	
3.45				
4.15	4	A		
4.45				
5.15	5	A		
5.42				
6.15	6	A	粒度	01/20
6.34				
7.15	7	A		
7.31				
8.15	8	A	密度	01/21
8.45				
9.15	9	A		
9.45				
10.00	10	A		
10.14				
11.15	11	A		01/22
11.36				